



2006年9月18日（月・祝）鎌倉を歩きました。台風が日本海側を通過する影響で、朝方は雨が激しく降っていました。出かける頃には、雨は小降りになり、予報では、天気は次第に回復するとのこと。しかし、そんな天気のためか、参加者は、佐藤忠夫さんと町田行弘の2名だけ。まあ、気ままにのんびり歩きましょう。

逗子駅に着いた時には雨はあがり、名越切通しから鎌倉に侵入していきます。人混みを避けるように住宅街を抜ける狭い道で材木座海岸へ。ウィンドサーファーで賑わう和賀江嶋まで足を伸ばし、北上して鎌倉駅に向かいます。ちょうどお昼時に通り雨があり、近くにあったラーメン屋に避難して昼食としました。道すがら、予定外のお寺などにも立ち寄り、鶴岡八幡宮で折り返して鎌倉駅へ。人の多さを感じたのは、鶴岡八幡宮と鎌倉駅の間だけでした。

観光地鎌倉の観光地ではない鎌倉のお寺を巡ると、お寺の声が聞こえてくるような気がします。



雨か...

8時30分、小田急線町田駅に集合したのは、佐藤さんと町田の2人でした。小野さんは2回連続で来ませんでした。ちょっと気になるところですが...。佐藤さんの話では、加藤さんは雨だったらパス、横山さんと向山さんは参加するということでした。

町田駅から小田急線で藤沢駅へ。ここで東海道線に乗り換えて大船駅。さらに横須賀線で逗子駅に行きました。この日、橋本駅を7時51分の大船行に乗って町田駅に来た佐藤さんは、わざわざ小田急線藤沢経由で逗子に行くということが不思議なようです。そこで、

橋本から町田は210円、町田から藤沢は300円、藤沢から逗子は230円で合計740円でした。改札を出て運賃表を見ると、逗子から橋本は950円です。逗子から町田は890円。差額は、橋本で210円、町田は360円となるのです。これは、小田急線が安いということより、小田急線を利用した方が距離も時間も短くてすむということでしょう。

逗子側は標識がない？

逗子駅は、WTR CLUBのハイキングで何回か利用している駅ですが、今回初めて裏口改札から出ました。無人駅のような小さな改札でビックリ。雨はあがって蒸し暑くなってきました。目の前の道を左方向に歩き始めます。最初の目的地は岩殿寺だったのですが、標識もなく（見逃したかもしれませんが）曲がり角を通り過ぎ、気が付くと逗子ハイランドへ向かう交差点にいました。今年3月の「衣張山・祇園山ハイキング」のときのスタート地点です。あの時はバスで行きましたが、歩いてもさほどの距離ではなさそうです。



法性寺の入口



休憩所

次の目標は法性寺ですが、そこから名越切通しに入るのを見逃すわけにはいきません。横須賀線の踏切の手前を右に入ることになっているので、それらしき路地を右折しましたが、よくわからない。通りかかった郵便配達人に聞くと、そこではなく、もっと踏切の近くを曲がるとのことでした。

確かに踏切のすぐ脇が法性寺への入口で“お猿畠の大切岸・名越切通し”の標識がありました。山門をくぐってしばらく行くと休憩小屋があり、一休みします。この休憩所は、ハイカーのためのものではなく、お墓参りの人のためにあります。



狭い山道

地味な名越切通し

“お猿畠の大切岸・名越切通し”の標識に従って、坂を歩いていくと墓地があり、その周りが“お猿畠の大切岸”となっていました。これは、北条氏が三浦氏に備えて鎌倉を守るために造った人工の崖で全長800メートルにおよぶそうですが、長い年月とともに自然と一体化してきて、うっかりすると見逃してしまいそうです。

墓地から細い草に覆われた未舗装の道を進むと、名越切通しに出ました。それにしても、中途半端な場所に放り出されたもので、左も切通し、右も切通し。切通しへの侵入方法を間違えたのでは？そもそも、逗子と鎌倉の間の名越山に造られた切通しですが、逗子側の登り口は、数カ所あり鎌倉側を1カ所にしていうということです。右側鎌倉方面に切通しを下っていきます。



名越切通し



まさに裏道！

名越山を下り、横須賀線の名越坂踏切を渡り、右へ歩くと長勝寺。拝観料は無し、境内で一休みします。本堂では法事が営まれていました。長勝寺から少し戻り、材木座霊園入口の大きな看板のある路地を入ります。坂を上っていくと材木座霊園の入口。材木座霊園の中を抜けて歩きます。そして、民家と民家の間の人ひとりが通れるほどの狭い路地に侵入して、霊園を出て海方面に下って行くのです。斜面に並ぶ住宅街の狭い道を進むと、バス通りに突き当たりました。ここを左へ行くと、光明寺があります。境内へ入るとひととき目立つ大きな山門。飾り気のないシンプルな山門は、鎌倉最大。2階には釈迦三尊、四天王、十六羅漢が祀られていて、2階からの由比ガ浜、江ノ島、富士山の眺めは素晴らしいそうです。山門拝観は、20名以上の団体のみで1人300円。



長勝寺境内



材木座霊園から民家の脇を



鎌倉最大の光明寺の山門



和賀江嶋

昔は港だった材木座

光明寺を出て、和賀江嶋へ向かいます。和賀江嶋の碑が建つあたりの海岸は、ウインドサーフィンを楽しむ人であふれかえっていました。数十メートル先の海の中に和賀江嶋の姿が確認できます。材木座海岸は、鎌倉時代、材木を中心とした船荷を扱う座で賑わっていましたが、遠浅なため船荷の揚げ下ろしで苦労していました。そこで、伊豆石などで島を築いて港としたのが和賀江嶋で日本最古の築港跡です。和賀江嶋は、満潮時には海に消え、引き潮の時にはほとんど陸つなぎとなるそうです。

バス通りを戻り、光明寺を越えて歩いていると雨がポツポツ。12時をまわっていたのでラーメン屋でお昼ご飯を食べることにします。気ままな2人旅ですから、お好みのラーメンと餃子、そしてビールを注文します。“薊”というこの店は、材木座あたりでは人気のラーメン屋で“サンマーメン”がお勧めということです。



薊（あざみ）

観光客が少ないとお寺の個性が

店を出る頃には雨が上がり、さらにバス通りを歩きます。一つ目の信号にあるのが九品寺。ちょっと立ち寄り、狭い境内で一休み。予定外の静かなお寺がちょっとしたオアシスです。次の信号“水道路”を右に入り、右の路地を進むと左に来迎寺があります。住宅街の中の小さなさわやかなお寺という感じ。“水道路”まで戻り“大町四ツ角”を右折して安養院へ。上行寺という怪しげなお寺の斜め向かいにある安養院の山門は涼しげです。そん



九品寺



大巧寺（おんめさま）

気ままにゆっくり？

再び小町大路を歩きます。蛭子神社、日蓮辻説法跡を通り、宝戒寺に到着。ここは、建武2年（1335）足利尊氏が後醍醐天皇の命を受けて北条一族の霊を慰めるために建立したお寺です。拝観料100円を払って中に入りました。別名「萩寺」と呼ばれている通り、白萩がきれいに咲いていました。それに合



来迎寺の入口



来迎寺境内の像



怪しげな上行寺（左）と涼しげな安養院（右）

な状況だと拝観料100円を払って中を見ようかという気になるから不思議です。大きな榎の木と北条政子の供養塔くらいしか見るものはないのですが。

“大町四ツ角”から鎌倉駅に向かい、滑川を夷堂橋で渡り、本覚寺へ。いつもは、賑やかな境内があまりにも寂しいのですぐに出て、小町大路を歩いていくと左側に賑やかなお寺を発見。“おんめさま・大巧寺”とあり、中にはいると観光客のひやかしとは違う雰囲気を感じられます。



本覚寺

“安産腹帯”などが売られているところから安産祈願のお寺だとわかりました。この寺の五代目の住職日棟上人が、難産の為亡くなった母子の霊を鎮めたという伝説が伝わる大巧寺は、安産祈願の参拝客が多く訪れるそうです。



宝戒寺

わせるかのようにところどころに咲いている彼岸花は白です。宝戒寺をあとにして、鶴岡八幡宮の大きな赤い鳥居は眺めるだけにして、若宮大路を鎌倉駅に向かって進みます。佐藤さんは、娘さんに“鳩サブレ”をお土産に買ってきて欲しいと頼まれたので、豊島屋本店を目指します。町田は、ここの通りにある漬物屋の試食を楽しみながら歩きました。鎌倉駅に着いて「JRで帰りますか？」「そうしましょうか」と、高くて遠回りなルートを選択。まあ、旅を楽しむならこれもありだよな。



名越切通しの碑

町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
佐藤忠夫	192-0364	東京都八王子市南大沢 2-12-3 0426-76-6246



名越山から

